



「知恵ビジネス・フランコンテスト」認定ブランド紹介

京都の特性と企業の強みを活かして顧客創造を図る事業ブランドを知恵ビジネスとして認定。6回にわたり認定ブランドを紹介いたします。

世界最高レベルの黒さを追求した「京都発ジーンズ」

(株)京都紋付 代表取締役 荒川 徹さん



(かさね)、着物に用いる家紋をアレンジして描いた「紋」などの商品アイテムを開発しました。デニムの神様と言われているデザイナーの田垣繁晴氏とのコラボで生まれた限定商品も人気があります。

11日の間、高島屋京都店(4階ヤングワールド特設会場)で販売しますので、是非お立ち寄りください。



京都の伝統産業の一つである「京黒紋付染」。その歴史は「黒さ」の追及の歴史でもあります。大正4年創業の(株)京都紋付は、長年培ってきた京黒紋付染技術を、8年前より洋装素材に応用。今回、従来のアパレルにはない究極の黒を追及したジーンズの商品展開で、知恵ビジネスの認定を受けた京都紋付の荒川社長にお話を聞きしました。

— 今回、どのようなジーンズを商品開発したのですか。

荒川「B・L・W・H・Y(ビーエル・ホワイ)」というジーンズのブランドを立ち上げ、究極の黒を追求した(KUROZOME)、ジーンズ独特の藍の上に黒を重ねて二度染めした襲

— この事業の強みを教えてください。

荒川 やはり京黒染技術と和装技術の洋装展開にあります。色には明度の10進法があります。完全な白を10とすると、当社で開発した「黒」は限りなく0に近い黒。また、黒染めジーンズは色落ちしにくいというメリットがあり、品質的にみても、これまでのジーンズと差別化を図ることができます。また、オリジナルオーダーが可能な家紋や京印伝など、京都ならではの「手作業による技」が隠されているのも、ほかにはない魅力です。4月28日から5月

— 目標をお聞かせください。

荒川 弊社の「黒にこだわる心」をお客様にお伝えたいですね。ジーンズカジュアル商品だけでなく、将来的には和装アイテムも取り扱いたいと考えています。そして、和のデザインを取り入れた品格と遊び心を感じさせる京都発のブランドを世界に発信し、京都の和装関連業界を盛り上げていきたいと思えます。



<会社概要>

株式会社京都紋付
京都市中京区壬生松原町51-1
黒染め加工業・和服の縫製加工
☎075-315-2961
<http://www.kmontsuki.co.jp>